

日本生協連 2024 年度 SDGs 取り組み方針

日本生協連ではコープ SDGs 行動宣言や「生協の 2030 環境・サステナビリティ政策」を基に、コープ商品事業・カタログ事業・キャロット事業で「責任ある調達」に関する基本方針等の各種政策や、「人権方針」を策定しました。こうした取り組みをうけ、日本生協連第 2 期中期方針では「会員生協とともに日本生協連全体で推進する SDGs」を掲げました。また、2024 年度方針では「変革実行を SHIFT UP ～SDGs と DX で創る、持続可能な社会と組織～」を基調とし、事業構造や組織の改革を推進し、持続可能な社会と組織の実現に向けて SDGs の取り組みを着実に進めることを掲げました。

コープ SDGs 行動宣言の 7 つの柱にそった取り組みと、人権方針の周知や人権に配慮した事業・活動を進めることで、人と社会の両面から持続可能な社会の実現に貢献します。

(補足：下線は 2030 環境・サステナビリティ政策に基づくコープ商品、キャロット、通販の各事業の環境・サステナビリティ方針)

会員生協とともに日本生協連全体で SDGs を推進します

- コープサステナブルアクション等を通じて SDGs に関する理解を深め、組織全体で SDGs を推進します。
- 組織の内外に SDGs に関する情報を発信し、生協が進めている持続可能な社会の実現に向けた社会的取り組みを広げます。
- 生協全体で SDGs を推進できるよう、会員生協に対して SDGs 推進に向けた情報提供や学習会開催、取り組み支援等を行います。

日本生協連「人権方針」に基づいた学習と人権デュー・ディリジェンスを実施します

- 日本生協連「人権方針」に基づき、人権に関する学習機会を設けます。
- 当会の事業・活動における人権への影響評価をもとに重点課題を特定し、予防・軽減策を実施します。
- 生協における人権尊重の取り組みについてとりまとめ、会員生協が人権対応を政策に取り入れる支援をします。

1. 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

【エシカル消費】

- 「コープサステナブル」シリーズ含むエシカル消費対応商品の供給高・アイテム数を拡大します。
- 社会的課題の解決に取り組む媒体「つ・な・ご」を通じて、貧困問題や雇用確保、労働環境改善に寄与する商品企画を進めます。
- 国産原料使用商品などを拡大し、食料自給力向上の取り組みを推進します。また、食料・農業問題について意見発信や方針提起を行います。

【プラスチック製容器包装・紙の削減】

- 再生・植物由来プラスチックへの切り替えを継続します。また、包材等に使用されるプラスチックの削減を推進します。
- 指定配布等によるカタログ・チラシ配布率低減や用紙軽量化を進め、紙使用量を削減します。
- 紙媒体の広報物のデジタル化を推進し、紙使用量を削減します。
- 各種会議や帳票等のペーパーレス化やシステム移行を進めることで、業務で使用する紙使用量を削減します。

【容器包装等の回収・リサイクル】

- 生協で回収したPETボトルのコープ商品包材へのリサイクルを拡大します。
- 衣料品を回収してリユース・リサイクルする取り組みを推進します。
- 通販事業でのダウンリサイクルの回収率向上を目指します。

【食品廃棄物・ロスの削減】

- 試食サンプル品を含め在庫管理を強化し、食品廃棄物を削減します。利用先がなく廃棄される原料を使用したコープ商品の開発を推進します。
- キャロット事業での調達強化・改善とリユース転売により、廃棄物の削減を目指します。

【責任ある調達】

- コープ商品「責任ある調達基本方針」と「カタログ事業・キャロット事業」商品「責任ある調達」指針に基づき、取引先 CSR アンケート等を通じて、人権を尊重し環境に配慮した責任ある調達を進めます。
- CSR 監査を継続し、CSR 基準適合比率の向上を目指します。
- 国際機関・NGO 等と連携し、カカオの調達に関して具体的な協働・支援のあり方について対応方針を策定します。
- オーガニックコットン以外の認証コットンの利用を増やします。また、引き続き木材原材料の合法性確認を進めます。

2. 地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

- 温室効果ガス削減目標の実現に向けて、目標引き上げへの対応を検討します。
- サプライチェーン全体でのCO2排出量の削減策を検討します。
- 太陽光発電設備の適正な維持・管理や物流効率化等を進め、施設・物流におけるCO2排出量を削減します。

3. 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

- 子どもの未来アクションの学び活動を組織内含めて拡大し、実践活動を支援します。
- コアノン「スマイルスクールプロジェクト」を継続します。
- 商品企画を通じて、インドの綿農家や子どもの就学を支援する「PBP（ピースバイピース）」

ス コットンプロジェクト)」の活動を支援します。

- NGO・NPO や他企業等と連携した生活困窮者支援等の支援活動も進めます。
4. 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します
- 組合員の平和への思いを大切にしながら、核兵器廃絶、被爆・戦争体験の継承の取り組みを推進します。
 - 国内・世界情勢に合わせた学習機会の提供等の取り組みを行います。
5. ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します
- ダイバーシティ&インクルージョンをテーマにした学習を行い、媒体・販促物や商品の包材・仕様書などで適切な表現をします。
 - 多様性を理解し、職員が能力発揮できる制度や環境、組織風土醸成を進めます。
 - 全国の生協でのダイバーシティ&インクルージョンやジェンダー平等などの推進に向けて、学習機会の提供等の取り組みを行います。
6. 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します
- くらしと生協「すくすく応援団」カタログの供給金額の一部を「子どもの未来アクション」の活動資金として助成します。
 - 災害支援に関する人づくりの強化と、災害支援対応について学び、災害時の対応力を高めます。
7. 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます
- コープ化粧品および通販事業での日本乳がんピンクリボン運動への寄付を継続します。
 - 組合員の健康な食生活に役立つ商品づくりを推進します。

以上